

ビジネススクールで映画と地域を語る！

～ハリウッドから、すずきじゅんいち監督を招いて～

日時 11月14日(土) 19時～21時

場所 香川大学大学院地域マネジメント研究科特別講義室

高松市幸町2-1 南側のキャンパスの正門を入れてすぐ左の建物

アクセス JR昭和町駅から徒歩10分(一般用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください)

会費 無料(ただし、収容定員の制約上、当日先着70名様まで)

主催 香川大学大学院地域マネジメント研究科

連絡先 地域マネジメント研究科 渡辺めぐみ 電話 087-832-1906 メール watanabe@gsm.kagawa-u.ac.jp

1. ラウンドテーブル:映画についてみんなで語ろう！

「地域が映画に出会うとき：映画が地域を変える&地域が映画を変える」

話題提供：滝内志保(有限会社七海屋代表取締役)

庵治石とスタンドグラスをもとにしたデザイン商品の製造販売

原 真志(香川大学大学院地域マネジメント研究科准教授)

コーディネーター：大西正泰(香川大学大学院地域マネジメント研究科院生)

日本各地でフィルムコミッションがつくられ、映画が持っている魅力と可能性が注目されるようになっており、香川県でも庵治などでロケをした「世界の中心で愛を叫ぶ」のヒットで映画のパワーをあなどれないと実感した人も少なくないでしょう。このラウンドテーブルでは、映画自身が持っている人生をも変える魅力とともに、映画が地域活性化に対して持っている地域をも変えるかも知れない潜在力や、逆に魅力ある映画づくりに地域が果たす役割などについて、さまざまな角度から語り合います。

2. トークセッション：すずき監督に何を聞きよるん！

「ハリウッドへの挑戦：映画は何を輝かせるのか」

講演：すずきじゅんいち(映画監督：ロサンゼルス在住)

スペシャルゲスト：榎原るみ(女優：ロサンゼルス在住)

コーディネーター：原 真志(香川大学大学院地域マネジメント研究科准教授)

知られざる巨匠、香川県出身のカメラマン宮武東洋氏が、厳しい時代に明るく生きた日本人・日系アメリカ人の強制収容所での生活を、密かに持ち込んだレンズで命をかけて温かく豊かにとらえていった様子を描いた感動のドキュメンタリー映画「東洋宮武が覗いた時代」(音楽：喜多郎)が、さぬき映画祭2009で上映されます。その上映に先立ち、同作品を監督したロサンゼルス在住のすずきじゅんいち氏を招いて、ハリウッドへのキャリアパスや、埋もれつつある貴重な財産に光をあてるプロセスとしての映画製作といったトピックについてお話しいただきます。また同監督の奥さんであり、二人三脚で奮闘されている女優の榎原るみさんにも特別参加していただく予定です。